



後援会 だより Vol.6

【安心できるまちづくり活動報告】
桶川市議会議員 山中 敏正
連絡所 ☎ 048-787-3796



令和 2年 8月発行



スマートフォンのカメラでアクセス!

<https://www.yamanaka-toshimasa.com/>

歩道の舗装修繕

令和2年 8月 1日(土)

こちらは県道12号線(主要地方道川越/栗橋線)、城山公園前の歩道です。
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5月31日まで市内小・中学校が臨時休校となっていました。6月1日(月)から学校が再開されました。
こちらの歩道を通して小学校に通う子どもたちが、水溜まりをよけて通学している姿を見て、県の担当課に相談したところ舗装の修繕を行って頂くことが出来ました。
今年は、梅雨明けも例年より遅れていますが、これで子ども達や、公園に散歩で来る方達も安全に通れる歩道となりました。

施工前



施工後



桶川市新型コロナ対策支援パッケージ 第2弾

令和2年 8月 3日(月)

本日、令和2年桶川市議会第1回臨時会を開催し、コロナ対策支援パッケージ第2弾が審議され、可決致しました。
政和会として要望書を提出し、6月議会でも代表質問をしたものが取入れられた内容となっております。
その中の一つとして、市内小中学校で再び臨時休校となった場合を想定し、在宅でのオンライン授業が行える環境を整備する。
また、「環境が整っていない家庭には行政による学習環境を整備すること」に対し「今年度中、実施に向けた整備をしまひります」とのご答弁を頂きました。

終息の見えないコロナウイルス感染、皆様におかれましては感染拡大防止を予防するための『新しい生活様式』の実践を引き続きお願い致します。
そして、関東地方も梅雨明け宣言が発表されますと、暑さ厳しくなりますので無理をせずこまめな水分補給と、適度な休憩を取るなど熱中症にもご注意ください。

桶川市新型コロナ対策支援パッケージ 第2弾

社会経済活動が徐々に再開され、引き続き感染拡大が懸念されるなか、当面の間、新たな生活様式を見据えた環境整備と感染予防対策の取り組みが求められています。
そのため、今回、6億円を超える「桶川市新型コロナ対策支援パッケージ第2弾」を実施し、市民の暮らしを支えるための更なる支援を行うとともに、感染予防のための環境整備を進めてまいります。

第2弾 総事業費
6億4200万円
◇市単独事業 3億7400万円
◇国庫補助事業 2億6800万円

生活支援 1億1400万円

◆インフルエンザ予防接種費用助成事業 27,692千円
全市民を対象にインフルエンザ予防接種費用を助成します。

区分	現行の助成	今回の助成	財源
4~12歳	なし	1,000円×2	議員・市長等三役の報酬等減額分
1~3歳	1,000円×2	+500円×2	
13~64歳	なし	1,000円	
(うち中学生の生計3,000円助成)			
65歳以上	自己負担1,500円	自己負担1,000円	臨時交付金

◆水道料金軽減支援事業 48,994千円
基本料金の2か月分(7、8月検分)を全額免除します。(実施主体:桶川北水道企業団)

◆防災用品確保事業 37,600千円
災害時のコロナに対応した避難所運営のための環境を整備します。

- ・防災用品の確保 27,600千円
- ・防災倉庫の設計業務 10,000千円

子育て支援 1億 700万円

◆新生児特別定額給付金 44,000千円
特別定額給付金の基準日の翌日以降に生まれた新生児1人あたり10万円を支給します。(R2年4月28日~R3年3月31日生れの新生児)

◆保育所等環境整備事業 10,503千円
保育所等の感染予防対策を実施します。【国庫補助事業】

◆ひとり親家庭等臨時特別給付金52,544千円
子育てと仕事を一人で担うひとり親家庭等を支援するため、1世帯あたり5万円を基本に支給します。【国庫補助事業】

事業者支援 300万円

◆市内循環バス支援事業 2,000千円
市内循環バスを運行する事業者の感染予防対策を支援します。

◆中小企業相談申請支援事業 1,000千円
桶川市商工会が行う、国・県の持続化給付金事業や融資制度等に関する相談体制を強化します。(6月補正予算により実施中)

学校教育支援 3億8900万円

◆小中学校学習用端末整備事業332,281千円
ICTを活用した新たな学びの場を創出し、オンライン授業などを見据えた1人1台の端末とデジタルコンテンツ等を整備します。【国庫補助事業】

◆小中学校給食費助成事業 49,433千円
市内小中学校すべての児童生徒の2学期分給食費の半額を助成します。

◆教育指導補助員の充実 4,697千円
きめ細かな指導を行うため教育指導補助員の充実を図ります。【国庫補助事業】

◆児童生徒の心のケア事業 2,417千円
学校の休業に伴い、悩みを抱える児童生徒の心をケアするため、相談員を配置します。(6月補正予算により実施中)

医療・福祉活動支援 1800万円

◆医療機関応援事業 8,850千円
感染のリスクが高い中、診療を行う医療機関を支援します。

- ・地区医師会 150千円×34機関
- ・歯科医師会 150千円×25機関

◆福祉施設応援事業 9,000千円
感染のリスクが高い中、福祉サービスを提供する福祉施設を支援します。

- ・高齢者施設 150千円×42法人
- ・障害児・者施設 150千円×18法人

感染予防対策 1100万円

◆自治会感染予防対策事業 2,750千円
感染予防対策を実施する自治会に補助します。

◆庁舎等感染予防対策事業 8,000千円
・サーマルカメラ購入、飛沫防止対策

第15回桶川市地域公共交通会議

令和2年 8月 3日(月)

令和2年8月3日(月)PM2:00より、桶川市地域公共交通会議が開催されました。
桶川市内の循環バスが、7月1日より新たなルートで運行が開始され1ヶ月が過ぎたところです。
当初、試行運行期間については、開始後1年間(最長3年程度)としていましたが、おおむね3年後を目安に本格運行に移行できるよう効果検証を行いたいとの考えです。
新型コロナウイルス感染症によるバス業界への影響は大きく、6月に入ってから改善の方向ではあるものの、7月以降も輸送人員について、3割減が続く見通しで厳しい状況は継続する見込みであるとの説明でした。

今回の議題の一つとして、「**運転免許返納者に対するバス運賃の割引について**」が議決されました。
桶川市内、過去5年間の免許返納者数を見ると毎年増加傾向にあり、令和元年度では323人と、特に70歳台からの高齢者が多い数字となっています。

運賃の内容については、適用開始日が令和2年10月1日からで、対象者は、運転経歴証明書をお持ちの方(年齢制限なし)または、運転経歴証明書交付済シールが添付されたマイナンバーカードを提示した方となります。

私の住む川田谷地域では運転の出来ない高齢者が(旧)西循環を利用して病院や買い物、そして桶川市役所までの利用をしていたのですが、新ルートから外れてしまいました。
会議の中で、今後ルートの変更についての質問をさせて頂き、利用者の少ないルートや利用者の少ないバス停留所等については見直しの検討をしていきますとの答弁を頂きました。
これからも、市民にとって利便性の良い循環バスになるようお願いをしていきます。



運賃 1回100円・1日200円で利用できます。

資料2

【議決事項】

(1) 議案 運転免許返納者に対する桶川市内循環バス運賃の割引について

1 運賃割引の目的

(1) 交通事故を未然に防止するため、運転に不安を抱える高齢者などの運転免許返納者について、自主返納をしやすい環境を整備する。

(2) 自家用車から公共交通機関への利用転換を促し、バスや電車の利用者の誘致を図る。

2 運賃の内容について

(1) 適用開始日 令和2年10月1日

(2) 対象者 運転経歴証明書をお持ちの方(年齢制限なし)

(3) 対象路線 桶川市内循環バスの全ての路線

(4) 利用方法 乗車時に運転経歴証明書又は運転経歴証明書交付済シールが添付されたマイナンバーカードを提示(コピー不可)

(5) 運賃割引額(※色付き部分が該当箇所)

区 分	乗車回数	1日		備 考
		通常	1C	
大人	小学生以上	200円	199円	400円
高齢者	75歳以上	100円	100円	200円
運転免許返納者	—	100円	100円	200円
小児	6歳以上・小学生未満	100円	100円	200円
幼児	1歳以上・6歳未満	大人又は小学生の同伴者1名につき、幼児2人1組無料、3人以上からは1人100円		
乳児	1歳未満	無料		

※ 1C運賃については、1C事業者のみに適用する。なお、特殊回数乗客運賃(1Cカード)は、特に指定した1Cカード乗客等が利用した場合に適用する。

3 利用者への周知

運賃割引の告知は、速やかに広報及びホームページ、バス車内広告で案内文を掲出し、利用者へ周知を図る。

学校応援団

令和2年 8月 4日(火)

桶川市立川田谷小学校は、明治6年(1873年)の開校で140年以上の歴史をもつ小学校です。
本日、学校応援団のメンバーと法面を覆った防草シートに、校内の環境を充実させるための作業を行いました。

話の発端は、小学校西側の斜面を毎年除草しているのですが、急勾配となっているため危険です。草が生い茂るのを防ぐためのシートを設置したのですが、風通しの良い場所で大風が吹くと止めピンが外れ、シートが剥がれてしまう。

養生するための重石がないか、とのご相談を受けました。

そこで、以前現場から発生した点字ブロックがあることに気づき、それを使う事にしました。
その時、ふと思いついたのが何か記念に残る設置の仕方が出来ないかと考え、行きついたものが『川田谷小』の文字をブロック91個使って表現したものとなりました。
こちらが生徒の目に留まり、将来大人になってからも母校を思い出した時、記憶の片隅に残っているものとなれば幸いです。
梅雨が明けて暑い中、一緒に手伝ってくれたメンバーには感謝致します。



ブロック配置図

